

二中の窓

11月号
令和元年(2019年)11月15日
箕面市立第二中学校



ONE TEAM

9月20日から44日間にわたって、熱戦を繰り広げた、ラグビーワールドカップ2019日本大会。ラグビー経験者(現在もプレイヤー)のわたしにとって、スペシャルな44日間になりました。ラグビー憲章にはラグーマンが守るべき5つの価値が示されています。

品位 (INTEGRITY) 情熱 (PASSION) 結束 (SOLIDARITY)
規律 (DISCIPLINE) 尊重 (RESPECT)

ラグビーには勝ち負けの前に大切なことがある。それを屈強なラグーマンたちが体現していたように思います。大会中、いろんなエピソードがありましたが、特に日本代表の活躍にはとても感動しました。日本代表の合言葉は『ONE TEAM』。年齢、国籍、所属チームの違う選手が一つになって戦う、全員で戦うということを目指しました。

彼らは目標どおり、チームが一つになって“ベスト8”という偉業を達成してくれました。

世界では勝てないと言われていた2015年大会でジャイアントキリングを達成し、世界を驚かせました。この大会の時もベスト8を目指していましたが、勝つことだけを目指にするのではなく、「ラグビーを通して子どもたちに夢を与えたい、東日本大震災などで被災した人たちに勇気づけるプレーをしよう」ということを目標にしていたようです。

「結果だけを求めるのではなく、自分たちのプレーで世界を驚かせ、日本を元気にするという目標をたてることで、どんな苦しい状況でも諦めずプレーができた。」と当時のキャプテンの廣瀬俊明さんが著書で書かれていました。

自分一人では成し遂げることができない大きなことも、チームが一つになれば大きく前進していくことをラグビー日本代表選手はわたしたちに伝えてくれたように思います。

クラブで、クラスで、学年で、学校で、自分がそのチームの一員として何ができるか？チームが一つになるにはチームを愛することが第一条件です。まずは自分たちのクラブ、クラス、学年を一人ひとりが愛せるようにお互いの個性を受け止め、支え合えるような関係をつくっていきましょう。ラグビー日本代表のように。

最後に…。各チーム、各選手それぞれにストーリーがあり、興味深い話はたくさんあります。ここでは書ききれませんでした。是非これを機会に調べてもらえたら嬉しいです。

自称：ラグビー普及大使箕面支部 辻尾 翔太

2年生 職場体験学習

去る10月30日(水)・31日(木)・11月1日(金)の3日間、2年生は職場体験学習に行きました。この日に向けて、1学期から準備を進めてきました。夏休み前に各体験先を訪れて打ち合わせをし、体験1週間前には再びご挨拶の電話をして、体験先でのシミュレーション(トラブル対応を考える「こんな時、どうする?」)等にも取りくみ、前日には各職種に分かれて、いざ当日!ワクワクドキドキしながら職場に向かったことでしょう。

道に迷って遅刻してしまったり、途中で体調を崩して早退したり……といったハプニングも若干ありましたが、その人たちも含め、全員が誠意をもってしっかり仕事に取りくめていたようです。もちろん、みんな最初は緊張していた様子でしたが、慣れるに従ってスムーズに動けるようになったという声も多く、仕事の大変さ・やりがい・楽しさ等々を実感することができたようです。2年教職員で分担して各体験先を訪れ、みんなの様子を見に行きましたが、それぞれに緊張感を持ちつつ充実した表情でよく頑張っていました。

体験先は例年お世話になっている事業所に加え、箕面警察署、カップヌードルミュージアム、Home Design Support(住宅建築業)、GREEN STUDIO(音楽スタジオ)等、生徒の希望に応じて新規でお世話になった事業所もありました。体験のない日(定休日等)は二中で草引きや畑仕事、図書館のお手伝いなどをしてもらいました。3日間天気にも恵まれました。

職場体験で学んだことを今後の生活に生かし、成長につなげてくれることを願います。

～生徒の声～

・ずっと立ちっぱなしということがわかり、とても疲れたけれど、店員さんは自分たちよりも動き、お客さんと話しているのにずっと笑顔で接客していたのが本当にすごかったです。自分も将来働くときはそうしようと思えました。店員さんたちが楽しそうに話していたのを見て、「働くってしんどいことの方が多いけれど、楽しいこともあるんだなあ」と気づくことができました。どの仕事にも一番大事にしているものがあると分かりました。



1年生 地域学習 合唱コンクールに向けて

1年生は、2学期の総合学習で、この間、「防災」について調べ学習をしてきました。防災を考えていくうえで、共助も大切だ。地域とつながって、どんな時も安心して住める町になるにはどうしたらいいだろうか。「二中校区でみんながつながるには」どうすればいいか。考えを班ごとに出し合い、学級でプレゼンテーションをしました。11月1日には、らいとぴあ21から2人の講師を招いて、学級代表の発表会をしました。いい考えがあったが、資金はどうするのか。自分たちが多くの人たちとつながりたいという意識があるのかなど、多くの課題もご指摘いただきました。「いろいろな立場の人をを考えて行動する」ということを意識しているか、日頃の学校生活でも考えてほしいものです。

また、一方で、12月12日の午後に実施予定の「合唱コンクール」に向けて、「学級で団結・協力し、絆を深め、きいている人を笑顔にし、感動を与える」を目標に掲げ、実行委員会を中心に活動が始まっています。各学級で、リハーサルも含めて、本番まで5回の練習があります。「声量・ハーモニー・曲想・印象」…どの学級がすばらしい歌声を聞かせてくれるのか。各学級の「和」が試されるでしょう。一生懸命に努力したという思いは、きっと、後の学校生活に生きてくるものです。皆さんの頑張りに期待します。



3年生 進路説明会 人権総合学習のとりくみ

10月24日(木)の5・6時間目に、第二回目の進路説明会が行われました。今回は、早稲田摂陵高等学校、大商学園高等学校、大阪府立茨木工科高等学校、大阪府立北千里高等学校の先生をお招きし、各校の紹介をしていただきました。あまりたくさん学校を知らないという生徒もいる中で、「こんな学校もあるんだな」「学校説明会に行ってみようかな」などと興味を持ち、選択肢の幅が広がったという生徒もいました。いよいよ進路選択を迫られる時期になります。生徒一人ひとりが納得し、目標をもって進んでいけるように、進路選択をしてほしいと思います。

11月7日(木)の6時間目には、進路関係の総合学習として「男女の働き方について」という内容の学習を行いました。「男は仕事、女は家事」という古くからの考えがまだ固定概念として残り、先進国でありながら男女の経済格差が問題としてある日本の現状に関して、将来自分たちが働く時にもこのままの日本でいいのか、現状を変えていくには一人ひとりがどのような気持ちを持って過ごしていく必要があるのかを考えました。「あたり前にあることをあたり前だと思わずに過ごしていくことが必要だ」という感想があり、進路学習から視野を広げて、さまざまなとりくみの中でもそういった感覚を養いつつ、過ごしてほしいです。

生徒の活躍

◆生徒会役員選挙の結果、以下の2年生6人が選出されました。1年間の任期の中でさまざまな行事の企画・運営に携わります。二中のみんなを引っ張って行ってください。よろしくお願いします。

会長:丸尾杏奈さん 副会長:酒井つかささん
運営委員:赤木里郁さん 本間愛子さん 高市はなさん 大場諒人さん

◆生徒総会が11月11日(月)に行われ、前期の生徒会各種委員会の報告、後期の提案がありました。生徒会役員を中心に委員・係のみんながそれぞれの役割を果たすことで二中をつくっていきます。後期になって新しい役割になりました。責任を持って取り組んでいきましょう。



◆箕面市青少年弁論大会が11月9日(土)に行われ、1年生の松井大和さん、酒井心那さん、阿部耕大さんが参加しました。それぞれ堂々とした姿で発表していました。受賞後の3人の笑顔がすてきです。



◆箕面市中学生イングリッシュ・エクспレッション・コンテストが11月10日(日)に行われ、2年生の丸尾杏奈さん、1年生の小森智馨さんが参加しました。ALTのチーラ先生・ローラ先生をはじめ、英語科の先生とスピーチの練習を積み重ねた成果を披露しました。



◆生徒会サミットが11月13日(水)に行われました。秋田県由利本荘市の中学生のみなさんとともに、生徒会役員の丸尾杏奈さん、酒井つかささん、大場諒人さんが参加しました。「いじめについて」をテーマに私たちに何ができるかを、ロールプレイングを通して考えました。



◆みのお市民人権フォーラムの案内

全体会が12月7日(土)グリーンホールで、分科会が12月8日(日)に各会場で行われます。全体会は、女子高校生サポートセンター 一般社団法人Colabo 代表理事の仁藤夢乃さんの講演です。詳しくはすでにお配りしているパンフレットをご覧ください。

◆教育委員会・学校へのご意見・お問い合わせは、学校ホームページの「ご意見・お問い合わせフォーム」でも受け付けております。